

RV130およびRV130Wルータのシステムログ (Syslog)の表示

目的

システムイベントとは、システムを円滑に実行して障害を防止するために、注意を払い、必要な措置を講じる必要があるアクティビティです。これらのイベントはログとして記録されます。システムログ(Syslog)を使用すると、管理者はデバイスで発生した特定のイベントを追跡できます。

ログの設定では、さまざまなイベントがネットワークに記録されるときに、メッセージ、通知、およびその他の情報のロギングルールと出力先を定義します。この機能は、イベントが発生したときに必要なアクションが実行されるように、担当者に通知します。ログは、電子メールアラートを介して送信することもできます。

この記事では、RV130およびRV130Wルータでシステムログ設定を管理し、ログ設定をエクスポートする方法について説明します。

RV130およびRV130Wでログ設定を設定する方法を学習するには、[Configure Log Settings on the RV130 and RV130W] をクリックします。

該当するデバイス

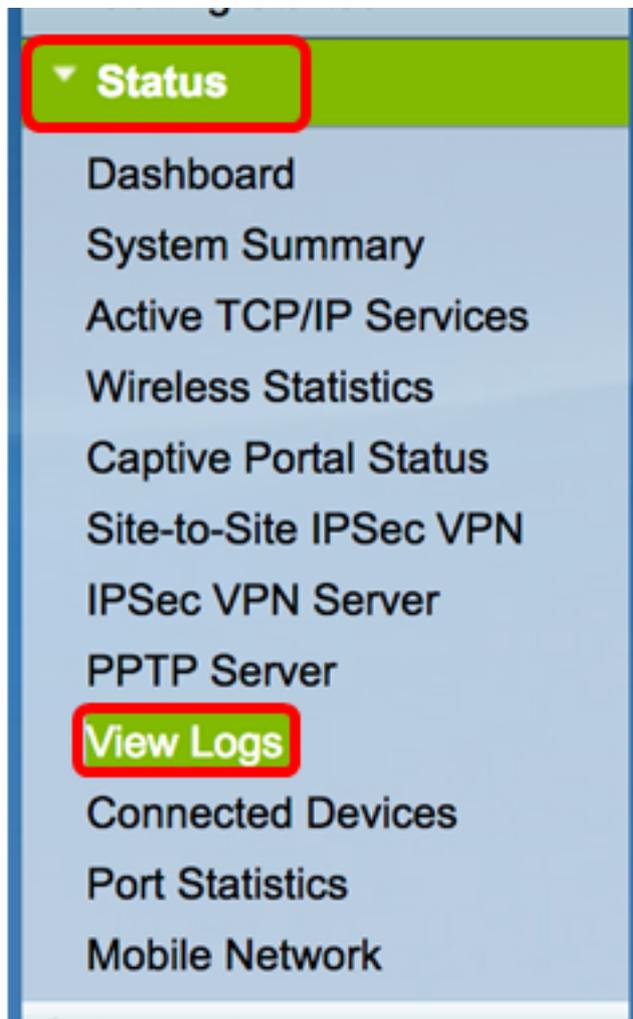
- RV130
- RV130W

[Software Version]

- 1.0.3.22

Syslogの表示

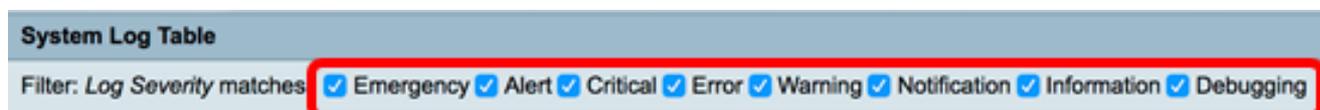
ステップ1：ルータのWebベースユーティリティにログインし、**Status > View Logs**の順に選択します。



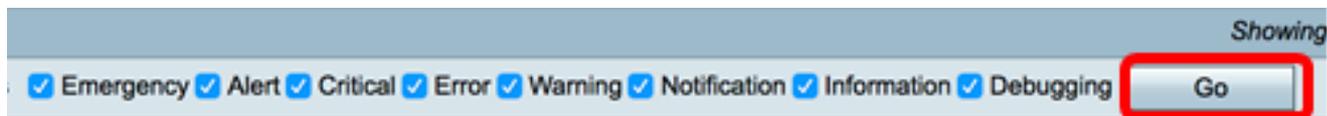
ステップ2: システムログテーブルで、表示する必要があるログ重大度を確認します。次のオプションがあります。

- Emergency : これはレベル0です。システムは使用できません。これは通常、すべてのプロセスにブロードキャストされます。Syslogの定義はLOG_EMERGです。
- アラート : これはレベル1です。ただちにアクションが必要です。Syslog定義はLOG_ALERTです。
- Critical : これはレベル2です。ハードデバイスエラーなどの重大な状態です。Syslog定義はLOG_CRITです。
- Error : これはレベル3のエラー状態です。Syslog定義はLOG_ERRです。
- 警告 : これはレベル4の警告状態です。Syslog定義はLOG_WARNINGです。
- 通知 : これはレベル5です。正常ですが、重要な状態です。Syslog定義はLOG_NOTICEです。
- 情報 : レベル6です。情報メッセージのみ。Syslog定義はLOG_INFOです。エラー状態ではないが、特別な処理を必要とする状態。
- Debugging : これはレベル7です。デバッグメッセージには、プログラムのデバッグ時にのみ通常使用される情報が含まれます。Syslog定義はLOG_DEBUGです。

注 : この例では、すべての重大度がチェックされています。



ステップ3:[Go]をクリックして、チェックマークが付いている品目を表示します。



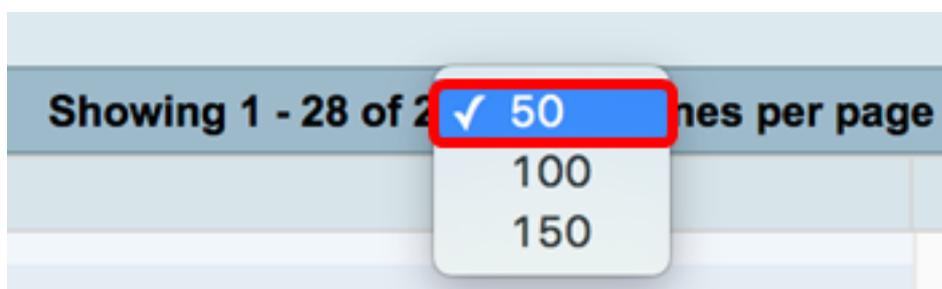
表には、ログ時間、ログ重大度、カテゴリ、および説明が表示されます。定義は次のとおりです。

- Log Index : ログのシーケンス。
- Log Time:syslogメッセージが作成された時間。日付はYYYY-MM-DDの形式で、時刻はミリタリー形式で表示されます。
- Log Severity:syslogメッセージの重大度。
- 説明 : syslogのメインメッセージ。

Log Index	Log Time	Log Severity	Description
1	2017-03-10 12:21:56 AM	err	udhcp[2772]: No timezone option with ACK.
2	2017-03-10 12:21:56 AM	err	udhcp[2772]: No timezone option with ACK.
3	2017-03-10 12:15:22 AM	err	mDNSResponder: ERROR: getOptRdata - unknown opt 4
4	2017-03-10 12:15:22 AM	err	mDNSResponder: ERROR: getOptRdata - unknown opt 4
5	2017-03-10 12:15:17 AM	err	mDNSResponder: ERROR: getOptRdata - unknown opt 4
6	2017-03-10 12:15:17 AM	err	mDNSResponder: ERROR: getOptRdata - unknown opt 4
7	2017-03-10 12:15:15 AM	err	mDNSResponder: ERROR: getOptRdata - unknown opt 4
8	2017-03-10 12:15:15 AM	err	mDNSResponder: ERROR: getOptRdata - unknown opt 4
9	2017-03-10 12:15:14 AM	err	mDNSResponder: ERROR: getOptRdata - unknown opt 4
10	2017-03-10 12:15:14 AM	err	mDNSResponder: ERROR: getOptRdata - unknown opt 4
11	2017-03-10 12:15:12 AM	err	mDNSResponder: ERROR: getOptRdata - unknown opt 4
12	2017-03-10 12:15:12 AM	err	mDNSResponder: ERROR: getOptRdata - unknown opt 4
13	2017-03-10 12:15:11 AM	err	mDNSResponder: ERROR: getOptRdata - unknown opt 4
14	2017-03-10 12:15:11 AM	err	mDNSResponder: ERROR: getOptRdata - unknown opt 4

ステップ4: (オプション) 1ページに表示するログの数を減らすには、[System Log Table (システムログテーブル)]ヘッダーのドロップダウンメニューをクリックします。オプションは、50、100、および150です。

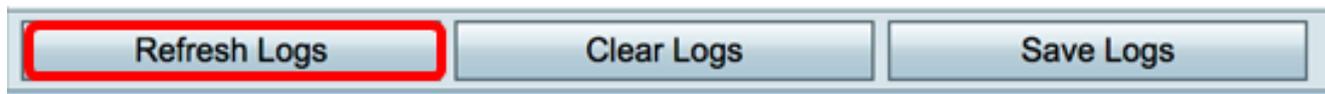
注 : この例では、50が選択されています。



ステップ5: (オプション) ログをさらに表示するには、矢印をクリックしてログページを切り替えます。



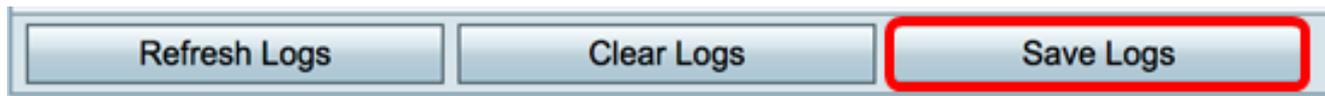
ステップ6: (オプション) [Refresh Logs] ボタンをクリックしてページを更新し、新しいログと最新のログを表示できるようにします。



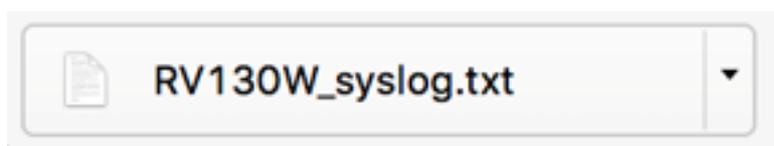
ステップ7 (オプション) テーブルからログをクリアまたは消去するには、[Clear Logs] をクリックします。



ステップ8: (オプション) ログをエクスポートしてPCまたはコンピュータにダウンロードするには、[Save Logs] をクリックします。ブラウザでダウンロードが開始されます。



注：ファイルは.txt形式で保存されます。



これで、RV130およびRV130WルータのSyslogを正しく表示できました。

このトピックまたはRV130ルータの詳細については、次のリンクをクリックしてください。

- [RVシリーズルータのログの表示](#)
- [Cisco RV130 VPNルータ製品ページ](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。